

## 第4回 ふくまる夢たまごセミナー

日時	9月18日(金)18:00~20:00		
場所	市庁舎7階大会議室		
内容	講話 先輩に学ぼう PART1 「教師 1年目ってどんな感じですか？こんな感じです！」		
講師	池田市立呉服小学校教諭 首藤 瑠那 先生 池田市立石橋小学校教諭 塚原 奈々子 先生		

第4回ふくまる夢たまごセミナーは、パネルディスカッション形式で「教師1年目」をテーマに塾生9名が参加して開催されました。

講師には、昨年度ふくまる教志塾生だった池田市立呉服小学校の首藤先生と池田市立石橋小学校の塚原先生をお招きしました。昨年度まで一緒に学んでいた塾生もおり、最も距離の近い先輩としてのお話を塾生は「教師になった自分」を想像しながら聞いていました。

### <首藤先生>

明るく元気な校長先生を中心に周りの先生方からサポートしてもらっている。実際に教師になってみて、ついつい子どもを叱ってしまうことがある。けれどその後は意図的に「子どもに活躍の場」を与えることで褒める機会をとってフォローするようにしている。

教師の仕事は際限が無いので今日は〇時までと決めて仕事をするようにしている。授業はもちろん、授業以外の準備も教師は本当にたくさんある。そんな時の気分転換はお酒を飲むこと。「酒は百薬の長」という言葉通り体力及び精神の回復を図っている。

最後に心がときめいた写真ということで、子どもからのメッセージの写真を見せてくれた首藤先生。子どものことを話すときの目の輝きから素敵な先生であることが伝わってきます。



## <塚原先生>

子どもの成長を感じられるのが教師の喜び。研修から学校に帰ると教室に子どもたちからの「お疲れさま」のメッセージが。そんな一瞬に教師のやりがいを感じられる。といっても教師も人間。なんでもかんでも完璧にはできない。一人の人間として子どもと一緒に成長していくことが大切だと感じている。



実際、現場に出てみると予想していなかった忙しさがある。例えば、丸つけが本当に大変。でも、毎日丸つけをしていると字だけで子どもの顔が浮かぶようになった。授業はもちろん、授業以外の準備もたくさんあるので休みの日はひたすら寝ることで体力及び精神の回復を図っている。

最後に学級の写真の集合写真を見せてくれた塚原先生。この子どもたちの笑顔のために頑張れるとのこと。

## <塾生の感想から>

○「先生」って毎日「先生」という言葉が心に残りました。現場をみていて心からそう思います。

○怒ってしまった子どもには、「あえて活躍する場を作る、周りにも認めさせる」などやっぱり工夫はとても大切だなと思いました。

○今回のセミナーはとても、新鮮に聴くことができ良かった。実際に教師になってみないとわからないと思いますが、自分の中で少しですがイメージが湧いて非常に良い機会になりました。

○現場で働いているからこそ感じられたことをたくさん聞くことができ教師という仕事がより具体的になりました。

○やはり教師は私の中で憧れの職業であると感じたとともに、お二人のような芯のある教員になりたいと思いました。

